

**11 不定詞①**(1) **To walk is healthy exercise.** 198

歩くことは健康によい運動だ。

(2) **I have a lot of work to finish today.** 204

私は今日中に終わるべき仕事がたくさんある。

(3) **She got up early to catch the first train.** 207

彼女は始発電車に乗るために早く起きた。

(4) **I'm happy to see you again.** 209

あなたにまた会えて嬉しい。

不定詞は「to + 動詞の原形」で表します。

✎ **名詞的用法** →文(1)

「動詞+こと」などと訳します。名詞として文の主語・補語・目的語になります。

✎ **形容詞的用法** →文(2)

「動詞+ための、べき」などと訳します。〈名詞+ to 不定詞〉の順序で名詞を修飾します。

✎ **副詞的用法** →文(3)(4)

「動詞+ために、して」などと訳すことが多いです。動詞や形容詞、文全体を修飾します。

**1** 日本語の文の意味に合うように、( ) 内に適する語を入れよう。

(1) 私は音楽を聞くのが好きだ。

I like ( ) ( ) to music.

(2) イチロウは日本史について学ぶために図書館へ行った。

Ichiro went to the library ( ) ( ) Japanese history.

(3) アサミはその知らせを聞いて嬉しかった。

Asami was happy ( ) ( ) the news.

**2** 日本語の文の意味に合うように、( ) 内の語句を並べかえよう。

(1) あなたにまた会いたい。

I ( again / see / to / want / you ).

I \_\_\_\_\_.

(2) 私の夢は医師になることだ。( be a doctor / is / my dream / to ).

\_\_\_\_\_.

(3) 私は何か飲み物がほしい。( drink / I / something / to / want ).

\_\_\_\_\_.

**3** 英語の文の意味に合うように、( ) 内に適する語句を入れよう。

(1) I have a lot of homework to do today. 今日は ( ) たくさんある。

(2) She studies English hard to travel abroad.

彼女は ( ) 一生懸命英語を勉強する。

(3) I'm glad to see you. ( ) 。



## 不定詞②

(want ~ to, It is (for ~) to, 疑問詞+to不定詞)

QR



- (1) I
- want you to be
- more polite to others. 221

あなたにはもっと他人に礼儀正しくなってもらいたい。

- (2)
- It is necessary for my father to
- go on a diet. 220

父はダイエットを始める必要がある。

- (3) I don't know
- how to play
- chess. 228

私はチェスの遊び方を知らない。

- (4) This question is
- too difficult for me to
- answer. 243

この問題は難しすぎて私には解けない。

✎ want + (人) + to 不定詞 → 文(1): 「(人) に～してほしい」という意味になります。

✎ It is ... (for + 人) + to 不定詞 → 文(2): 「(人) が～するのは…だ」という意味になります。

✎ 疑問詞 + to 不定詞 → 文(3): 「疑問詞の意味 + ～すべきか」という意味を表す名詞句です。✕ why + to 不定詞の形はありません。

✎ too + 形容詞 (～) / 副詞 + to do (...) → 文(4)

程度「…するには～すぎる」や、結果「～すぎて…できない」を表します。

## 1 日本語の文の意味に合うように、( ) 内に適する語を入れよう。

- (1) 彼は息子に医者になってほしいと思った。

He wanted his son ( ) ( ) a doctor.

- (2) 私にとって英語を学ぶことは楽しい。

It is fun ( ) me ( ) learn English.

- (3) 私は何を料理したらよいかわからない。

I don't know ( ) ( ) cook.

## 2 日本語の文の意味に合うように、( ) 内の語句を並べかえよう。

- (1) 私はたくさん本を読む必要がある。

( for / is / it / me / necessary / to read ) many books.

\_\_\_\_\_ many books.

- (2) 英語の勉強の仕方を教えてください。

Please tell me ( English / how / study / to ).

Please tell me \_\_\_\_\_.

- (3) 私はあなたにこの本を読んでほしい。( book / read / this / to / you ).

I want \_\_\_\_\_.

## 3 英語の文の意味に合うように、( ) 内に適する語句を入れよう。

- (1) We don't know which way to go. ( ) 私たちはわからない。

- (2) The question is too difficult to solve.

その問題は、( )。

- (3) Mai asked her sister to help her homework.

マイは姉に ( )。



# 23 関係代名詞①(主格)

(1) I have a friend who knows a lot about American movies. **380**

私には、アメリカ映画についてよく知っている友人がいる。

(2) Today I saw the movie that won this year's Academy Award for Best Picture. **381**

今日、今年のアカデミー作品賞を受賞した映画を見た。

関係代名詞は、名詞と節をつなぐ代名詞で、後ろから名詞を説明する働きをします。

✎ 先行詞が人 → 文(1)

関係詞節 (who knows a lot about~) が修飾する名詞 (a friend) を先行詞といいます。who は関係詞節の中で a friend の代わりに使われ、knows の主語になっています。この時、who は「主格」の働きをする関係代名詞です。先行詞が人の場合は who または that を使います。

✎ 先行詞が人以外 → 文(2)

the movie が先行詞。that が関係詞節の中で the movie の代わりに使われ、won の主語になっています。先行詞が人以外の場合の主格の関係代名詞は which または that を使います。

**1** 日本語の文の意味に合うように、( ) 内に適する語を入れよう。

(1) 英語を話しているその女性は、アボット先生です。

The woman ( ) is speaking English is Ms. Abbott.

(2) 『奥の細道』は、松尾芭蕉によって書かれた本である。

*Oku no Hosomichi* is a book ( ) was written by Matsuo Basho.

(3) 長い首を持っているその動物はキリンだ。

The animal ( ) has a long neck is giraffe.

(注) giraffe キリン

**2** 日本語の文の意味に合うように、( ) 内の語句を並べかえよう。

(1) 法隆寺は7世紀に建てられた寺である。

( a temple / Horyuji / in 7<sup>th</sup> century / is / that / was built ).

Horyuji is \_\_\_\_\_.

(2) 私にはアメリカに住んでいる友達がいる。

( a friend / have / I / in the USA / lives / who ).

I \_\_\_\_\_.

(3) これは、私を幸せにしてくれる本だ。

( a book / is / makes me happy / that / this ).

\_\_\_\_\_.

**3** 次の2つの英文を、関係代名詞を使って1つの英文にしよう。

(1) I have a friend. She comes from Canada.

\_\_\_\_\_.

(2) Mayumi has a cat. The cat has blue eyes.

\_\_\_\_\_.

(3) I have a friend. He lives in Malaysia.

\_\_\_\_\_.

## 24

## 関係代名詞②(目的格)

QR



(1) He is a man (who) I can trust. 382

彼は信頼できる人間だ。

(2) The fish (that) I ate yesterday was not good. 383

昨日食べた魚はおいしくなかった。

✎ 先行詞が人 → 文(1) : who が関係詞節の中で a man のかわりに使われ、動詞 trust の目的語になっています。目的格の関係代名詞は who か that を使います。かたい書き言葉では whom も使われます。目的格の関係代名詞はよく省略されます。

✎ 先行詞が人以外 → 文(2)

that が関係詞節の中で The fish のかわりに使われ、動詞 ate の目的語になっています。先行詞が人以外の場合、関係代名詞は which か that を使います。The fish (that) I ate yesterday がこの文全体の主語となっています。

### 1 日本語の文の意味に合うように、( ) 内に適する語を入れよう。

(1) 私が昨日会った女の子はルーシーです。

The girl ( ) I met yesterday is Lucy.

(2) これは私が今日読み終えた本です。

This is the book ( ) I finished reading today.

(3) 『赤毛のアン』は、モンゴメリーが書いた本です。

Anne of Green Gables is a book ( ) Montgomery wrote.

### 2 日本語の文の意味に合うように、( ) 内の語句を並べかえよう。

(1) 私が昨日見た映画はとても面白かった。

The movie ( I / very interesting / was / watched / yesterday ).

The movie \_\_\_\_\_.

(2) これらは私がこの前の日曜日に撮った写真だ。

( are / I / the pictures / these / took ) last Sunday.

\_\_\_\_\_ last Sunday.

(3) 母が作った寿司はとてもおいしかった。

The sushi ( cooked / my mother / that / very delicious / was ).

The sushi \_\_\_\_\_.

### 3 次の2つの英文を、関係代名詞を使って1つの英文にしよう。

(1) It is a black cat. I saw it in front of my house yesterday.

\_\_\_\_\_.

(2) This is a book. I finished reading this book yesterday.

\_\_\_\_\_.

(3) This is a table. My grandfather made it.

\_\_\_\_\_.

PART  
1

## The power of dreams



## New Words

3. **success** [səksəs]6. **animated**  
[ænəmeɪtɪd]6. **jungle** [dʒʌŋɡl]7. **cruise** [krú:z]7. **steam** [sti:m]8. **vision** [vɪʒən]

## Phrases

1. **as a child**13. **come true**

1. As a child, 2. As a young man, 4. Soon, 9. Finally, 11. Today など時を示す語(句)に注意

11. love ..., watch ..., sing ..., and visit ... と列挙されていることに注意

*If you can dream it, you can do it.*

(夢を見ることができれば、それは実現できる)

Walt Disney

As a child, Walt Disney loved animals and drawing. As a young man, he created Mickey Mouse and became famous. He had great success.

Walt became a father. Soon he found a new dream. He imagined an amusement park for families. It had animated characters, a small-town main street, a jungle cruise, a real steam train, and more!

Many people didn't understand his vision, but he worked hard. Finally, on July 17, 1955, Disneyland opened. On the first day, 32,000 people came.

Today, people everywhere love Disney characters, watch Disney movies, sing Disney songs, and visit Disney parks. Walt's dream came true.



1 2 3



Walt Disney in his workroom



Walt Disney with his daughters

Walt Disney [wɔ:lt dɪzni] ウォルト・ディズニー (1901-66, アメリカの映画製作者) 2. Mickey Mouse [mɪki maʊs] ミッキー・マウス 9. Disneyland [dɪznɪlənd] ディズニーランド

♪ 1. animal [ænəml], 6. imagine [ɪmædʒɪn] の下線部の発音に注意



**1** タイトルと冒頭の引用文を読んで問いに答えよう。

- ① 誰についての話？ ( )  
② この英文のキーワードは何？ 1語で答えよう。( )

**2** **1**で答えた内容を踏まえて、英文を音読してみよう。

ヒント1：わからない語やフレーズは、意味を推測しながら読んでみよう。

ヒント2：QRコードから音声も聞いてみよう。

ヒント3：音声に合わせて音読すると、英語のスピードに慣れるトレーニングにもなる。

**3** 本文の内容を考えながら、次の英語の意味を辞書で調べて書こう。本文の内容に最も合う意味を選んでみよう。(→「辞書の引き方」(2ページ))

- (1) success ( ) (2) animated ( ) (3) jungle ( )  
(4) cruise ( ) (5) steam ( ) (6) vision ( )  
(7) as a child ( ) (8) come true ( )

**4** **3**で調べた単語の意味を当てはめて、もう一度本文を読み、本文全体の要約として正しいものに○をつけよう。

- (ア) 子どものころ、動物や絵をかくことが好きだったウォルト・ディズニーは、大人になってミッキーマウスを生み出した。彼は大人のための遊園地を作りたかった。後にそれはディズニーランドとなったが、最初は入場者が少なかった。  
(イ) ウォルト・ディズニーの夢は、アニメキャラクターやジャングルクルーズ、蒸気機関車がある子どものための遊園地を作ることだった。彼の考えは多くの人々に理解され、ついにディズニーランドがオープンした。映画や音楽もでき、ウォルト・ディズニーの夢は実現した。  
(ウ) 子どものころから動物や絵をかくことが好きだったウォルト・ディズニーは、やがてミッキーマウスを生み出した。アニメキャラクターのいる家族のための遊園地を作りたいという彼の夢はディズニーランドとして実現した。今日ではディズニーのキャラクターや映画、音楽は多くの人々に愛されている。

**5** 本文に出てくる次の英文の( )内に適切な語を書き、[ ]内に現在形か、過去形かを書こう。(→「**1**動詞(現在形)」(4ページ), 「**2**動詞(過去形)」(5ページ))

- (1) Today, people everywhere ( ) Disney characters. [ ]  
(2) As a child, Walt Disney ( ) animals and drawing. [ ]  
(3) He ( ) great success. [ ]  
(4) He ( ) an amusement park for families. [ ]





## 1 英語のしりとりをやってみよう。

最初の語に続けて、語の最後のアルファベットで始まる語を書こう。

ルール① 1度出た単語は使えない。 ② 3文字以上の単語を書くこと。

gate - ((例) evening) - ( ) - ( ) - ( )  
 herself - ( ) - ( ) - ( ) - ( )  
 popular - ( ) - ( ) - ( ) - ( )  
 fall - ( ) - ( ) - ( ) - ( )  
 area - ( ) - ( ) - ( ) - ( )

## 2 英語クイズ ヒントの英文を読んで、説明しているものを当てよう。

- (例) It's round. It's very large. We live there. [ earth ]
- ① Many of them are brown. Some houses are built by them. [ ]
- ② It means 100 years. Now is the twenty-first. [ ]
- ③ It is loved by a lot of people. It is a kind of food. It is from India.  
[ ]
- ④ It's a winter sport. It is played on the ice with special shoes. [ ]

## 3 "Who am I?" クイズ ヒントを読んで何について述べているか答えよう。

- (例) I work at a restaurant. I cook various kinds of foods. Who am I?  
[ chef ]
- ① I take a spaceship. I leave the earth and go to the space. Who am I?  
[ ]
- ② We are not animals. We are flowers, vegetables and trees. Who are we?  
[ ]
- ③ People cannot live without me. People need me when they breathe.  
I am around the earth and not in the space. Who am I?  
(注) without ～ ～なしに breathe 呼吸する [ ]
- ④ I have many trees. A lot of animals lives in me. Who am I? [ ]

# PANORAMA English Communication 1 ブリッジノート・解答集

## 10 小中学校で習った語で PANORAMA に出てくる語の復習 [p.13]

1 (解答例) (gate → evening →) gas → sound → diary (herself →) follow → web → beach → human (popular →) raise → express → support → tie (fall →) lead → duck → kilogram → member (area →) attention → next → trouble → ever

2 ① wood ② century ③ curry  
④ skating

【訳】(例)「それは丸い。それはとても大きい。私たちはそこに住んでいる」→地球 ①「それらの多くは茶色い。それで建てられている家もある」→木, 木材 ②「それは 100 年を意味する。今は 21 番目である」→世紀 ③「それは多くの人に愛されている。それは食べ物的一种である。それはインド由来である」→カレー

④「それは冬のスポーツである。それは特別な靴をはいて、氷の上で行なわれる」→スケート

3 ① astronaut ② plants ③ air  
④ forest

【訳】(例)「私はレストランで働きます。いろいろな種類の食べ物を料理します。私は誰でしょう」→シェフ ①「私は宇宙船に乗ります。地球を離れて宇宙へ行きます。私は誰でしょう」→宇宙飛行士 ②「私は動物ではありません。私は花や野菜や木です。私は誰でしょう」→植物 ③「人々は私なしでは生きられません。呼吸をするときには私が必要です。私は地球の周りにいますが、宇宙にはいません。私は誰でしょう」→空気, 大気 ④「私はたくさんの木を持っています。私の中にはたくさんの動物が住んでいます。私は誰でしょう」→森

## 11 不定詞① [p.14]

1 (1) to listen (2) to learn[study]

(3) to hear

【解説】(1)不定詞の名詞的用法は動詞の目的語になることができる。この文では like の目的語になっている。(2)「～するために」という動作の目的は不定詞の副詞的用法で表すことができる。この文では「日本史について学ぶ」ことが「図書館に行った」目的である。文全体の時制が過去でも、to の後の動詞は原形。(3)不定詞の副詞的用法は、感情を表す形容詞の後で、「～して」と感情の原因を表すことができる。この文では「その知らせを聞いた」ことが「嬉しかった」原因である。

2 (1) want to see you again  
(2) My dream is to be a doctor.  
(3) I want something to drink.

【解説】(1)不定詞の名詞的用法が動詞 want の目的語になっている文。「あなたにまた会いたい」→「あなたにまた会うことをしたい」と考える。(2)名詞的用法の不定詞が補語になっている文。主語 my dream の内容を説明している。(3)「何か飲み物」=「飲むための何か」は不定詞の形容詞的用法を用いて something to drink と表せる。

3 (1)やるべき宿題が (2)外国を旅行するために  
(3)私はあなたに会えて嬉しい

【解説】(1)to do が直前の名詞 homework を修飾している。不定詞の形容詞的用法を用いた文。(2)to travel abroad が studies English hard の目的を表す、不定詞の副詞的用法を用いた文。(3)不定詞の直前に glad「嬉しい」という感情を表す形容詞があることに注目する。感情の原因を表す不定詞の副詞的用法を用いた文。

## 12 不定詞② (It is (for ~) to, want ~ to, 疑問詞 + to 不定詞) [p.15]

1 (1) when to (2) for, to (3) what to

【解説】(1)「O に～してほしい」は〈want + O + to 不定詞〉で表すことができる。(2)「英語



を学ぶこと」は不定詞の名詞的用法で表し、この文の真の主語になる。その不定詞の意味上の主語「私にとって」は、for me で表す。(3)「何を～すればよいか」は〈疑問詞 + to 不定詞〉を使って表せる。「何」なので、疑問詞は what を用いる。

- 2** (1) It is necessary for me to read  
(2) how to study English  
(3) you to read this book

【解説】(1)語群に it があることから、many books が文の最後にあることから、形式主語を用いた文だと考える。to read many books「たくさん本を読むこと」の意味上の主語「私は」は for me を不定詞の前に置いて表す。(2) tell O<sub>1</sub> O<sub>2</sub>「O<sub>1</sub>にO<sub>2</sub>を教える」の形。「勉強の仕方」は「どのように勉強するか」と考え、〈疑問詞 + to 不定詞〉を使って how to study と表す。(3) to 不定詞 (to read) の行動をしてほしい相手 (you) を want と to 不定詞の間にに入れて示す。

- 3** (1) どの道に行くべきか  
(2) 難しすぎて解くことができない  
(3) 宿題を手伝ってくれるように頼んだ

【解説】(1)〈疑問詞 + to 不定詞〉を用いた文。疑問詞 which は「どの～」という意味。(2) too ~ to do で「～すぎて…できない」という意味を表す。(3)〈ask + O + to 不定詞〉で「Oに～するよう頼む」という意味を表す。〈want + O + to 不定詞〉と同じ形。

## 23 関係代名詞① (主格) (p. 26)

- 1** (1) who[that] (2) which[that]  
(3) which[that]

【解説】(1)主格の関係代名詞を入れる。先行詞は The woman (人) なので who または that となる。(2)関係代名詞節が受動態になっている文。先行詞は a book (人以外) なので which または that となる。(3)has a long neck (長い首を持つ)の主語となる先行詞は The animal (人以外) なので which または that となる。

- 2** (1) Horyuji is a temple that was built in 7th century.

- (2) I have a friend who lives in the USA.

- (3) This is a book that makes me happy.

【解説】日本語を見て、節で修飾されている名詞を先行詞にして英文を組み立てていく。(1)先行詞は a temple, 関係代名詞は that。関係代名詞節が受動態になっている文。(2)先行詞は a friend, 関係代名詞は who。(3)先行詞は a book, 関係代名詞は that。〈make + O + C〉で「OをCにする」という意味。

- 3** (1) I have a friend who[that] comes from Canada.  
(2) Mayumi has a cat which[that] has blue eyes.  
(3) I have a friend who[that] lives in Malaysia.

【解説】(1)「私にはカナダ出身の友だちがいる」という意味の文にする。a friend = She なので a friend を先行詞にして、主格の関係代名詞で節を続ける。先行詞は人なので who または that を使う。(2)「マユミは青い目をしたネコを飼っている」という文にする。1文目の a cat と2文目の The cat が同じなので a cat を先行詞にして、主格の関係代名詞で節を続ける。先行詞が人以外なので which または that を使う。(3)「私にはマレーシアに住んでいる友だちがいる」という意味の文にする。a friend = He なので先行詞は a friend で、主格の関係代名詞 who[that] を使う。

## 24 関係代名詞② (目的格) (p. 27)

- 1** (1) who[whom/that] (2) which[that]  
(3) which[that]

【解説】(1)空欄の後に主語と動詞があり met の目的語が the girl になっているので目的格の関係代名詞を入れる。先行詞が人なので who または whom または that となる。(2)空欄の後に主語と動詞があり finished reading の目的語が the book なので目的格の関係代名詞を入れる。先行詞が人以外なので which または that となる。(3)空欄の後に主語と動詞があり wrote の目的語が a book なので目的格の関係代名詞を入れる。